



①元気いっぱいの歌声②3つの『あ』のお約束③中富大翔(たいち)くんの歓迎の言葉「いろいろな思い出をつくりましょう」④⑤6年生と一緒に入場⑥式を終えて少し緊張も和らいだかな。

4/9
WED

希望に満ちた学校生活のスタート

大竹小学校・小方学園 (小方小学校・中学校)

心弾むような春の日、市内小・中学校の入学式が行われ、大竹小学校では103人の元気な姿が見られました。新入生が、お兄さんお姉さんと手をつないで入場すると、保護者らが一斉にカメラを向けます。真鍋和聡校長は、『あ』と書かれた文字を見せ「明るく、`相手を見、`頭を下げる、」という3つの『あ』のあいさつを大切にしてくださいと語りかけました。

小方学園は小・中学校が一緒の入学式です。木村彰校長は小学生47人には「元気の種、やる気の種を育てて、2年生になるころには大きな花を咲かせてください」と言葉をかけ、中学生93人には「人を大切にすること、自分らしさや、考えを表現すること」。そう言って中学生としての自覚を促しました。

少し疲れ気味の様子だった小学1年生も『一年生になったら』を元気いっぱいに歌った入学式でした。



5

6

入学式



⑦「一年生になったら」の歌声が響きます⑧小学生代表の船越日和(ひより)さんと、中学生代表の三宅樹里(じゅり)さんが歓迎の言葉⑨新中学生を代表して宮本翌菜(あすな)さんの誓いの言葉⑩カラフルランドセル⑪桜をバックに記念撮影⑫思わず笑みがこぼれます。



小方学園

小方小学校
小方中学校



13

14

15

16

17

⑬ハイ、ポーズ⑭⑮⑯仲良く登下校してね⑰心も体も弾みます。



卒業式



21



3/19
WED

大竹小学校

①卒業証書を手にして②保護者に成長した姿を見せます③受け取った卒業証書の重みをかみしめるように④「瀬戸の潮の寄すところ かねいが平を背において」みんなで歌う最後の校歌⑤卒業証書と花を手にとり⑥6年間背負ったランドセルに書いてもらった友達のサイン。



7



8

9

市内の各小学校で卒業式が挙行され、通いながれた学びやを後にしました。大竹小学校では97人が、真鍋和聡校長から小学校生活の証しの卒業証書を手渡されました。式辞で、宗教家・哲学者の清沢哲夫さんの「ふみ出せばその一足が道となる」「道」という詩を引用し「迷ったら困難なことを選ぶ。それが成長するチャンス」と、挑戦することの大切さを説く真鍋校長です。在校生代表の神田美羽さんは「中学校に行っても頑張ってください」と送辞を、それに応えるように「志を持って目標に向かって努力すると卒業生代表の山田理人くんは、力強く誓いました。玖波小学校は19人が卒業証書を手に入れました。真森倫子校長からは「皆さんは無限の力を持っている。何かをするときまず自分自身で考え判断し、一番良いと思うことをしてください」と式辞。在校生代表の星野真愛美さんは「それぞれの夢に向かって大きく羽ばたいてください」とエールを送り、卒業生代表の鈴木郁磨くんは学校目標の『共に生きるから』一人ではできないことを友達と協力して達成に向けて取り組む。そう学んだことを答辞としました。

⑦誇らしげに受け取る卒業証書⑧在校生や保護者に見守られてくぐる花のアーチ⑨卒業おめでとう！卒業証書を掲げて小学校に別れを告げます。

玖波小学校



カメラガキ



PART1